

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

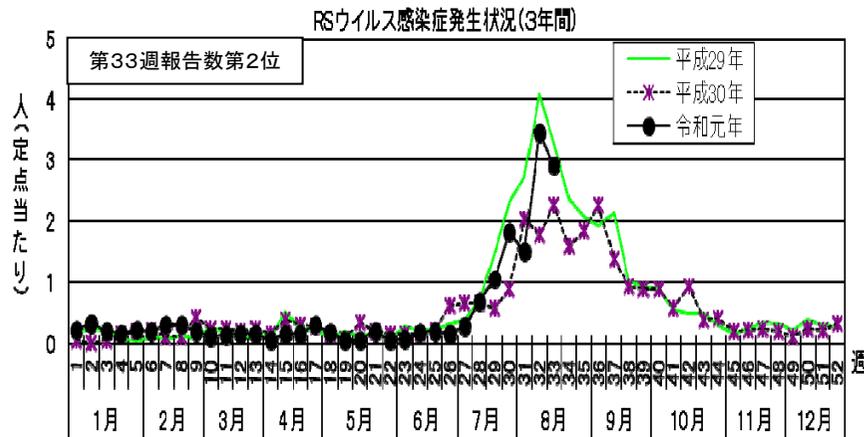
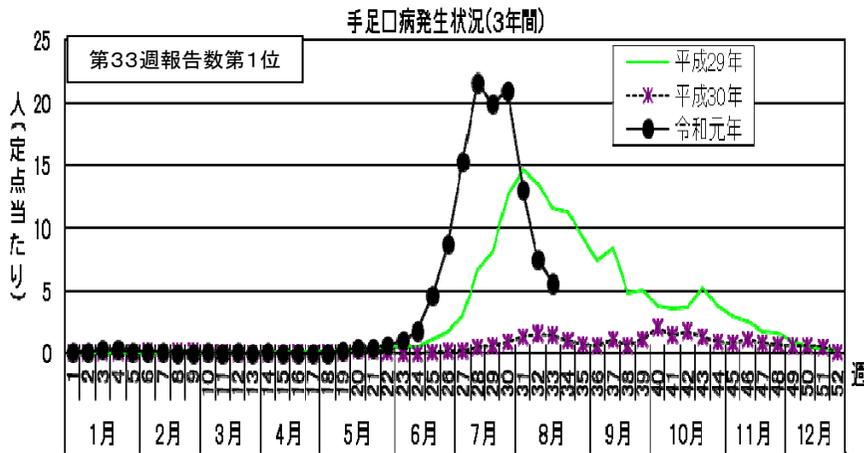
令和元年8月12日（月）～令和元年8月18日（日）〔令和元年第33週〕の感染症発生状況

第33週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)RSウイルス感染症 3)感染性胃腸炎でした。

手足口病の定点当たり患者報告数は5.57人と前週（7.51人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.91人と前週（3.46人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.43人と前週（3.06人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。



帰国後の体調不良にご用心！

海外から帰国した後に、体調不良を訴える方は比較的多いといわれており、中でも発熱や発疹、下痢などの症状がよくみられます。

海外旅行後には思わぬ感染症が潜んでいる可能性があります。体調不良がみられた際は早めに医療機関を受診し、症状だけでなく旅行先や旅行期間、旅行中の行動、旅行前の予防接種歴等を必ず医師に伝えましょう。

旅行後の発熱

海外から帰国後、発熱することは多く、特に発展途上国から帰国した人の2～3%に発熱がみられるといわれています。

《発熱をきたす感染症》
デング熱、マラリア、麻しん、風しん、ジカウイルス感染症等



発疹等の皮膚症状

皮膚症状は、海外旅行で最も頻繁にみられる症状の一つです。発熱も同時にみられる場合、全身の感染症を伴っていることが多いため、注意が必要です。

《発疹をきたす感染症》
デング熱、麻しん、風しん、ジカウイルス感染症等



止まらない下痢

海外旅行者の半数以上が旅行先で下痢になります。数日でおさまることも多いですが、帰国後も症状が続く場合もあります。

《下痢をきたす感染症》
細菌性赤痢、コレラ、腸チフス等



～フィリピンでデング熱が流行しています～

フィリピン保健省は8月6日、デング熱の全国的な流行を宣言しました。フィリピンでは、今年の1月から7月20日までのデング熱の感染者が昨年同時期と比べて98%増加して14万6062人となり、662人の方が死亡しています。

長袖・長ズボンの着用や虫よけスプレーの使用等により蚊に刺されないようにするとともに、万一発症した場合には早期に医療機関を受診するよう注意喚起が行われています。

